

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 2 年 10 月 1 日 (2020.10.1)

【公開番号】特開 2020-54859 (P2020-54859A)
 【公開日】令和 2 年 4 月 9 日 (2020.4.9)
 【年通号数】公開・登録公報 2020-014
 【出願番号】特願 2019-235349 (P2019-235349)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 8 月 14 日 (2020.8.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

識別情報を変動表示させる識別情報表示手段を備え、前記識別情報が特定態様で表示されることに基づいて、可変入球口が入球可能状態となる特定遊技を実行する遊技機において、

前記識別情報が前記特定態様で表示される可能性を示唆する予告演出を発生させる演出発生手段と、

遊技状態を設定する遊技状態設定手段と、

を備え、

前記遊技状態設定手段は、前記遊技状態として少なくとも、通常状態と、前記通常状態より遊技者にとって有利な有利状態とを設定可能であり、

前記演出発生手段は、

前記予告演出として少なくとも、第一の予告演出と、前記第一の予告演出と比較して遊技者に認知し難い第二の予告演出とを、発生可能であり、

前記通常状態並びに前記有利状態であっても、前記第一の予告演出は発生可能であり、

前記第一の予告演出は複数種類の演出態様にて発生可能であると共に、少なくとも一種類は前記識別情報が特定態様で表示されることが決定している場合にのみ行われる第一特別演出態様を含み、

前記第二の予告演出は複数種類の演出態様にて発生可能であると共に、少なくとも一種類は前記識別情報が特定態様で表示されることが決定している場合にのみ行われる第二特別演出態様を含み、

前記通常状態より、有利状態である時のほうが、第一特別演出態様が発生する可能性が高くなっている

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 7 】

上述した課題の少なくとも一部を解決するために、本発明の遊技機は次の構成を採用した。すなわち、

別情報を変動表示させる識別情報表示手段を備え、前記識別情報が特定態様で表示されることに基づいて、可変入球口が入球可能状態となる特定遊技を実行する遊技機において、

前記識別情報が前記特定態様で表示される可能性を示唆する予告演出を発生させる演出発生手段と、

遊技状態を設定する遊技状態設定手段と、を備え、前記遊技状態設定手段は、前記遊技状態として少なくとも、通常状態と、前記通常状態より遊技者にとって有利な有利状態とを設定可能であり、

前記演出発生手段は、

前記予告演出として少なくとも、第一の予告演出と、前記第一の予告演出と比較して遊技者に認知し難い第二の予告演出とを、発生可能であり、

前記通常状態並びに前記有利状態であっても、前記第一の予告演出は発生可能であり、前記第一の予告演出は複数種類の演出態様にて発生可能であると共に、

少なくとも一種類は前記識別情報が特定態様で表示されることが決定している場合にのみ行われる第一特別演出態様を含み、前記第二の予告演出は複数種類の演出態様にて発生可能であると共に、

少なくとも一種類は前記識別情報が特定態様で表示されることが決定している場合にのみ行われる第二特別演出態様を含み、

前記通常状態より、有利状態である時のほうが、第一特別演出態様が発生する可能性が高くなっている

ことを特徴とする。